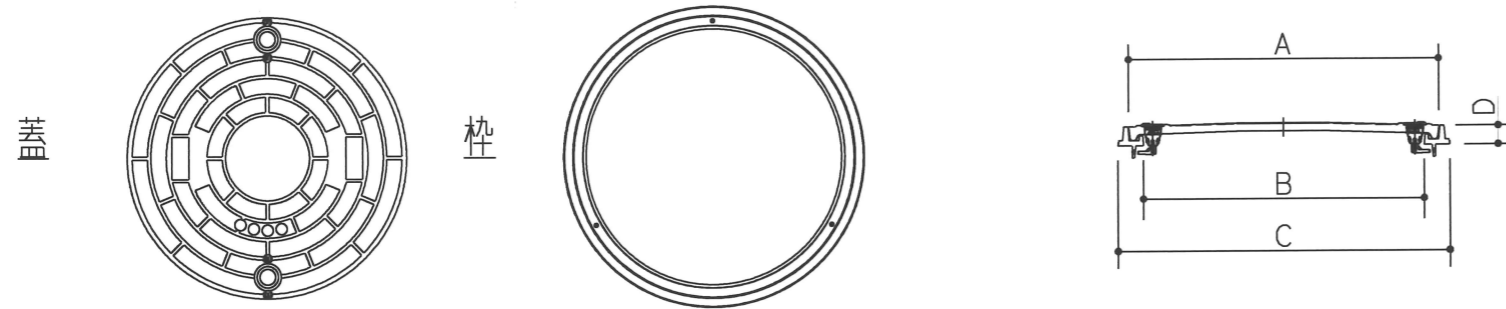


FRP製マンホール
(ロック付・パッキンなし)



寸法・規格表

マンホール	パイプ	A	B	C	D	T-1	T-2	T-4	T-6
450φ	450φ	497	450	532	30	○	○	○	○
600φ	600φ	650	600	695	30	○	○	○	○

* マンホールの枠は各仕様共通です。

重量表(蓋)

マンホール	T-1	T-2	T-4	T-6
450φ	5.8	5.8	6.0	6.0
600φ	11.2	11.2	10.5	10.5

安全・破壊荷重

マンホール	T-1		T-2		T-4		T-6	
	安全荷重	破壊荷重	安全荷重	破壊荷重	安全荷重	破壊荷重	安全荷重	破壊荷重
450φ	2.5 KN	10 KN	5.0 KN	20 KN	10 KN	40 KN	15 KN	60 KN
600φ	2.5 KN	10 KN	5.0 KN	20 KN	10 KN	40 KN	15 KN	60 KN

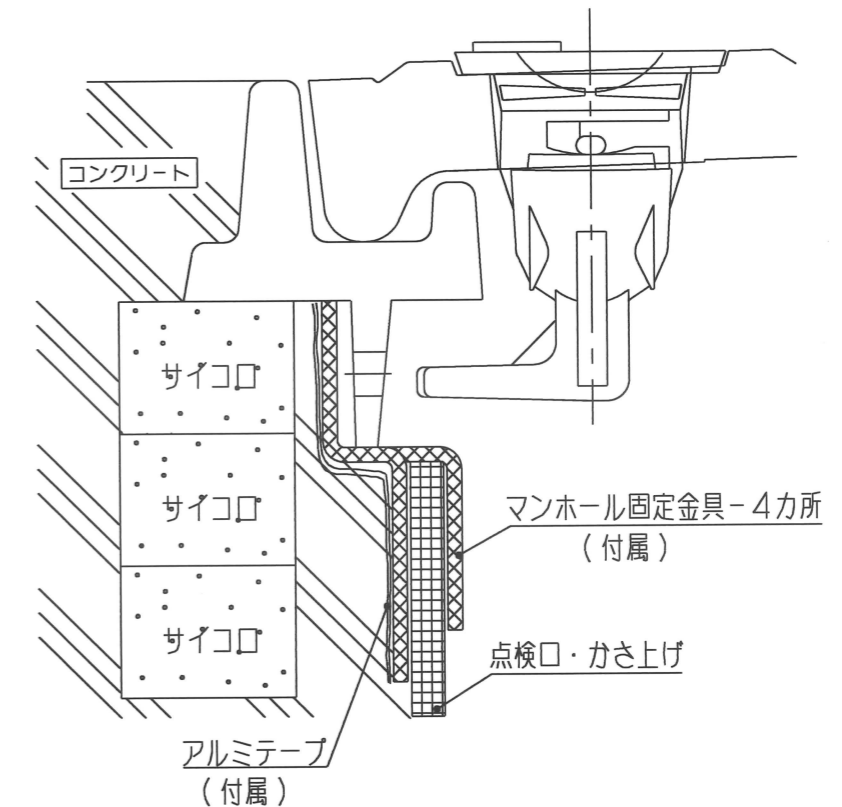
安全荷重(選定目安)とは

SHASE-S規格によれば、敷地周辺道路および敷地内道路で5トントラック以上の重車両が通過する場合50KN(5000Kgf)、敷地内道路で普通乗用車(2001cc以上)および4トントラック以下の車両が通過する場合15KN(1500Kgf)、建物内および敷地内で小型乗用車車両(2000cc以下)通行する場合5KN(500Kgf)を安全荷重と規定している。

破壊荷重とは

試験体(蓋)を圧縮試験機で破壊し、その耐えた最大荷重。通常安全荷重の4倍とする。

FRP製マンホール(ロック式)足付の施工方法
450φ、600φの場合



マンホール金具施工要領書参照

1. 点検口・かさ上げにマンホール固定金具を4カ所差し込んでマンホール枠を載せて下さい。
2. コンクリートの流入を防ぐためマンホールの外周に、アルミテープを貼って下さい。
3. 金具に荷重がかからないように、マンホール枠の下にサイコロ等入れて下さい。
4. コンクリートを打設して下さい。

* マンホールの説明

- T-1: 1ton荷重用
- T-2: 2ton荷重用
- T-4: 4ton荷重用
- T-6: 6ton荷重用

注意事項

下記の様な問い合わせが殺到... 『既存のマンホールの外径が 000φある。これと同じ蓋がありませんか?』



マンホール蓋は、メーカーにより溝の位置も、溝深さも異なりますので、ピッタリ合う物がないと思われます。既存の枠を固めているコンクリートははずして、これに近いマンホールをご利用下さい。

マンホール	日付	2015.9.4	製図	KM
図面名	図数	1/20	担当	TF
FRP製足付(蓋:レジコン、枠:PP)	図法		校閲	
外形寸法図	図番	KB04-No01AB		

ロジール機器株式会社